

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 31

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
例 会 日 毎週月曜日 12:30~
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会 長 百 濟 洋 一
会 長 工 レ ク ト 切 石 博 之
副 会 長 瀧 田 浩 彦
幹 事 三 木 武 志
会 報 委 員 長 福 岡 康 民

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の手に

2009~2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第 1761 回例会 平成 22 年 4 月 5 日 (月曜日) 第 31 号

本日の例会

4月5日(月)第1例会

- ◎ソング 「君が代」「四つのテスト」
◎卓 話 「不思議な手品で楽しんで頂きましょう」
ゲストスピーカー 富士奇術研究所
所長 富士谷 清様(大阪城東RC)
(担当:坪倉修吉会員)
◎本日の献立 フランス料理

次回の例会

4月12日(月)第2例会

- ◎卓 話 「献血の輪の中に」
ゲストスピーカー 大阪府赤十字血液センター
献血部長 織田 美夫様
(担当:鈴木勝俊会員)
◎本日の献立 フランス料理

前回の例会記録

3月29日(月)第4例会

- ◎ビジター 東京江戸川中央RC 皆川英久氏他1名
会 長 挨 拶 会長 百濟洋一
次年度(2010~2011年度)の会長ノミニー・理事を
発表させて頂きます。次年度会長ノミニー浅野光男、
理事、切石博之、宮崎康治、細川勝治、林孝信、西村
啓三、小林成共、岩崎史郎、小川高弘、松浦永郁、大
石忠克、佐井義昌の12名です。

3月28日(日)シティプラザ大阪にてアメリカ第
5870地区GSEチーム歓迎晩餐会に岩崎会員・奥様・
ご息子さんと出席して来ました。研究グループ交換
(Group Study Exchange)の目的は、異なる国にある

二つのロータリー地区の間で、若い事業主や専門職業
人よりなるチームを相互に訪問して、国際間の理解と
友好の増進を図ることにあります。GSEチームは訪
問旅行中、個人に家庭に宿泊し、その地方の風習暮ら
しについて直接学びます。受け入れ地区が作成する日
程表は、政府・教育・産業分野から福祉・スポーツ・
レクリエーションの分野までの経済的・文化的施設を視
察する様々な機会を提供します。また職業的関心につ
いても学ぶことができます。今回岩崎会員宅にて、ア
メリカテキサスから5名の団長として来られたロータ
リーアンのクリス・ミーア(Chris Mealy)さんが、今
週ホームステイされます。岩崎会員よりよろしくお願い
致します。

幹事報告

幹事 三木武志

1. 次回、4月5日(月)例会修了後、第10回定例理事・
役員会を5階コスモスの間で開催いたします。理事・
役員各位にはよろしくお願いいたします。
2. 他クラブ例会変更及び休会の案内を掲示していま
す。

出席報告

小川委員

本日の会員数 42名
本日の出席者数 29名
本日の出席規定適用免除会員 15名
本日の出席率 85.29%
3月8日の修正出席率 91.67%

委員会報告

親睦活動委員会

副委員長 岡田忠彦

1. 4月1日(木)茨木カントリー倶楽部西コースにお

いて第3回ゴルフ同好会が開催されます。桜満開のいい気候でお楽しみ下さい。集合は9時です。

2. 4月6日(火)第2回東輪会ゴルフコンペ、太子カントリー倶楽部、参加人数が少ないので是非参加のほどよろしく願います。

卓話 「ヨット」 福岡康民

私の興味の有ること、又趣味と言えば OUT DOOR に関わることが殆どです。スキー、山歩き、素潜り、スキューバ、魚釣り、モーターボート(水上スキー)、ヨット、ゴルフとこれらはいずれも大好きです。中でも一番長く浅くですが続いているのがヨットです。ヨットでのクルージング(セーリング)は、或る時は灼熱の太陽の下全く無風状態でただボートにゆらゆらと揺られながら汗をかきながらじーっと数時間も風を待っている、また小雪混じりの寒風吹きすさぶ中、手も顔も体が凍えそうになりながらロープワークをしなければならない時、土砂降りの雨中での帆走は多々あります。たまには心地よい快晴の下、風は10ノット程度(少し強風)アビーム(風を船首から見て横90°に受けている状態)又はクロスホールド(同約45°)で風を体全体に感じながら仲間と帆走している時。全く自然相手のスポーツです。私にとっていずれも楽しいひと時です。私は主に大阪湾でセーリングをしています。昔はスナメリとかイルカの仲間を良く見かけました。可愛らしく何度見ても大変感動した覚えがあります。1987年大阪湾開港120周年記念祭で世界の有名な大型帆船が大阪湾に集まり、アメリカ、イギリス、オランダ、スペイン、日本からは日本丸、海洋丸等々が参加しパレードが催され、ヨット仲間と連れ添い参加したことがあります。大型帆船の優美さ、中でもスペインの帆船エスメラルダ号の美しさには感動した覚えがあります。

ヨットと帆掛船(帆船)とどこか違うのか、ヨットは風上に向かって帆走が可能で、帆船は風下からのみの帆走しか出来ません。ヨットは飛行機の翼とおなじ原理で帆に揚力を起こさせそれを推進力に変えています。風上に向かってセールの水平断面は飛行機の翼の断面と非常に良く似ています。構造はハル(船体)、マスト、セール、キール(センターボード)、ラダー(舵)を備えています。ヨットレース、ヨットレースは世界各地また日本でも各地で様々なレースが行われています。オリンピックには無い大型ヨットレースも非常に興味深いものがあります。大陸間を結ぶ長距離レースもいくつかあります。中でもボルボオーシャンレース(2008~2009年)などはスペインをスタート、大西洋アフリカ沖を南下し、ケープタウンを回りインド洋を北上しシンガポール、青島、太平洋を横断、船舶航行の最難関である南アメリカ南端のホーン岬を回りリオデジャネイロ、南アメリカ北アメリカを北上ポストン

へ、更に大西洋を横断、アイルランドへ、バルチック海のストックホルム、ロシアのサンクトペテルブルグがゴール、総距離69000km、何と8ヶ月半の長期に亘る戦いです。又単独ヨットのタイムレースでは大西洋横断最短時間記録は6日半、太平洋は14日17時間などが有ります。ヨットレースの中でも最大のイベントは「アメリカズカップ」です。これは1851年より現在まで続く国際ヨットレースです。その優勝杯の名、その成立は近代オリンピックより45年、サッカーのワールドカップより79年、ゴルフの全英オープンより9年早く継続して使用されている世界最古のスポーツトロフィーです。1851年、イギリスで第1回万国博覧会が開催され、その記念行事の1つとしてイギリスのヨットクラブ、ロイヤル・ヨット・スコードロンが主催したワイト島1周レースに端を発し、このレースにアメリカからただ1艇参加した「アメリカ」号が優勝し、ビクトリア女王から賜った銀製の水差しカップを自国に持ち帰り、それをアメリカ号のカップすなわちアメリカズカップとよばれるようになり、アメリカ号のオーナー達がそのカップをいかなる国の挑戦も受けねばならないと云う条件でニューヨークヨットクラブへ寄贈した。これに基づき1870年第1回「アメリカズカップ」が開催され、現代に至っています。今年33回大会が開催されています。初回から24回大会まで132年間に亘りアメリカが防衛してきました。数多くの富豪がアメリカに挑戦しましたがことごとく敗れ去っています。印度紅茶のサートーマスリプトンもその1人です。1983年25回大会に初めて「オーストラリアII」号に破れアメリカズカップは初めてアメリカ国外へ渡る事になりました。その後又アメリカが奪回、ニュージーランド、アメリカ、アメリカ、ニュージーランド、ニュージーランド、スイス、スイス、と勝利を収め、今年2月アメリカの「BMWオラクル」号が奪回しました。日本も1992年28回大会から2000年30回大会の3回「ニッポンチャレンジ」号が挑戦しましたが、いずれも準決勝で敗退し、その後資金不足で不参加です。この競技の本質は、カップの寄贈者が記した贈与証書の規定に基づき、アメリカズカップを賭けてマッチレース形式で争われるヨットクラブ間の国際親善レースです。使用されるヨットは出場国での建造が表務づけられている為、参加各国の造船工学、建築工学、材料工学、流体力学、航空力学、気象学、などの最先端技術や軍事からの応用技術が投入される等、参加国の威信を賭けた国際対抗レースとしての一面も持ち合わせています。又これら最新ヨットにはオリンピックメダリストら多数のトップセーラーが乗り込む事もあり、ヨットレース全般、あるいはインシヨア(沿海)レースの最高峰として位置づけられています。日本も国の威信を賭けて再度挑戦して欲しいと私は願っています。